

群馬県地域密着型サービス連絡協議会 役員会及び STKGH 大会実行委員会・議事録

開催日 平成27年 10月19日(月) 13時30分～		書記 上野		
開催場所 群馬県庁 昭和庁舎 1F 11会議室				
出席者) 恩田 三俣 上野 高橋 伊藤 橋本 多胡 佐塚 松原 平川 櫻場 井上	東部) 秋草 鬼形 荒川 清水	西部) 新井 松村 飯塚 忌部 小池	南部) 阿久津 森田 荻野 竹内 佐藤	中北部) 金井 舩原 熊切 小島 内藤
検討事項		議事結果		
会長より		要介護1.2の通所介護などのサービスが、地域支援事業へ移行するという介護保険制度の改革案が財務省から提示された。注視が必要。		
ウェルカム講習進行状況		太田6名終了高崎5名で進行中(2名当日キャンセルあり)・富岡9名申し込み・前橋8名申込。		
全国GH団体連合会 フォーラム参加報告		<ul style="list-style-type: none"> ・藤川幸之助氏の基調講演は感動した。群馬にも呼んでほしい。 ・運営の分科会では、グループホーム不要論が出ている今考えるべき、地域の人に必要とされる存在になるための取り組み事例が紹介されていた。 ・群馬県からは4名参加。厚労省の水谷氏の講演もあった。認知症カフェや共用デイなど、簡単には取り入れられないかもしれないが、認知症の人が輝ける場を地域に作ることは大切。 		
認知症デイの会員加入の件		<p>会費案について議論し暫定設定した(事業内容等を煮詰め妥当性を確認する)。担当役員はひとまず現役員から選出する。</p> <p>実態(数・場所等)を調べ、ブロック長を中心に役員が複数で個別に事業所をまわり周知する(説明会案内持参)。2月上旬に説明会&情報交換会を開く。</p>		
委員会等参加状況や報告		<p>恩田：① 認知症疾患センター選定委員 東毛地域特に太田・館林・医療圏に疾患センターがないので指定したい。既に指定されている病院は三年で更新する。</p> <p>② 介護人材対策委員 今後介護人材不足から要介護2により軽い人は、市町村の介護予防・地域支援事業にいずれは移行すると考えられる。介護イメージアップの対策に連協も協力したい。</p> <p>③ ケアマネ研修 清水さんが講師として出てもらっている。グループホームでのケアマネージメント選択者が少ない。</p> <p>三俣：① 前橋認知症疾患医療連絡会→認知症医療疾患センターの相談や運営に関する事項を審議している。</p> <p>② 評価機関の「社会福祉評価機構」と「はあとらんど」の審査委員→利用者の苦情や実績等を審議している。</p> <p>清水：群馬県地域医療介護総合確保 懇談会→県の医療介護の計画や基金、事業と</p>		

<p>相談窓口設置について</p> <p>管理者研修について</p> <p>会費未納の事業所について</p>	<p>して困っている事柄等を審議している。</p> <p>上野：館林邑楽お口のリハビリ研究会→摂食・嚥下障害の方の機能回復、職員の技量の向上を目的として発足した。12月に講演と体験の研修を開催。</p> <p>管理規定を策定。</p> <p>役員集合 11時 全体の流れの確認 担当割 受付はブロック長+副ブロック長 司会は研修部内で決定する。懇親会と二次会司会はブロック長が行う。来年度以降も出来る限りその形にしたい。</p> <p>山口先生の講演は、相談拠点の手引きで使用する、病型分類質問票 43 項目版 DDQ43 の説明を中心とする。</p> <p>手引きの使用方法は作成した運営部が行う。</p> <p>事業計画に基づいた各事業の進捗状況や実施内容の報告を会長の進行で行う。運営、研修、広報等に振り、各部長等から報告する。</p> <p>時間があればブロック長からの報告を行う。</p> <p>個別に検討し催促、または退会等の確認をする。</p>
グループホーム運営部	
小規模多機能運営部	
研修部	
広報担当	
中北部ブロック	
西部ブロック	
東部ブロック	
南部ブロック	<p>エリア会議開催。サービス評価の講習会等を行った。2 法人のみの参加となった。</p> <p>伊勢崎で普通救急救命を行う予定。</p>